

総務産業常任委員会記録

日 時 令和7年10月27日（月曜日）10時00分～10時57分

場 所 議員控室

出席者 小寺委員長、工藤副委員長、金木委員、逢坂委員、佐藤委員、村田議長
森町長、三浦副町長、三上商工観光課長、木村商工観光課長補佐
小笠原観光振興係長

オブザーバー 阿部議員、舟見議員、磯野議員、村上議員

事務局 鈴木局長、嶋元係長

小寺委員長

ただいまから総務産業常任委員会を始めたいと思います。

本日の議案は、羽幌町いきいき交流センターの指定管理者についてを議案といたします。

まず最初に、町長出席されておりますので、町長から一言ご挨拶いただいてから調査に入りたいと思います。

森町長、お願いします。

1 羽幌町いきいき交流センターの指定管理者について

説明員 森町長、三浦副町長、商工観光課 三上課長、木村課長補佐、小笠原係長

森町長 10:00～10:02

改めまして、皆さん、おはようございます。よろしくお願いいたします。本日出席させていただいた理由から申し述べたいと思います。

これまで長い間株式会社アンビックスと指定管理を結んで様々な意見交換の中でいろんな浮き沈みがありましたけれども、これまでいったことでありましたけれども、今回改めて指定管理者の募集に2社が申し込みまして、結果として、ホームページのほうに結果はもう掲載しておりますけれども、セントラルリーシングシステム株式会社ということに運営するように決めました。その上で、これは非常に町民にとっても関心が高い案件だと思いますし、今後の流れとしては今日の委員会を経て12月にいわゆる指定管理の議案を議会に出して最終決定になりますけれども、準備は今からできるだけ進めてまいりたいというのはお互いの希望でありますので、ぜひ今日の中でいろんな疑問点等を

提案してもらって、それを生かした形で進めてまいりたいと思いますので、そういう意味合いを持って今日の会議を開いていただければ幸いと申し上げます。

1つ言い訳っぽくなって申し訳ないのですが、先週、今週とほぼ出張でありまして、行く前に一旦打合せをしたのですが、その間状況のいろいろ細かい変化もあって先ほど2回目の打合せということでありまして、会議の中で私が全部把握していない部分もあるので、担当課と私の中でやり取りするような場面も出てくるかもしれませんけれども、その辺もご理解していただきたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

小寺委員長

それでは、まず説明を受けたいと思います。

木村課長補佐、お願いします。

木村商工観光課長補佐 10:02～10:04

私のほうから冒頭にお配りしております羽幌町いきいき交流センターの指定管理者についての説明をさせていただきます。座って説明をさせていただきます。

まず初めに、今回指定管理者の公募をいたしまして、応募件数が2件となっております。1件目が株式会社アンビックス、2件目がセントラルリーシングシステム株式会社となっております。

2番目、羽幌町公の施設の指定管理者選定委員会による面接審査、選定が行われました。日時につきましては、令和7年10月2日1時からとなっております。内容につきましては、羽幌町指定管理者候補者選定基準に基づき7名の選定委員及び専門委員が個別に評価、採点を行いました。審査の結果といたしましては、総合評価点数が最も高かった以下の団体が候補者としてふさわしいと考えるということになりまして、セントラルリーシングシステム株式会社となっております。この選定委員会の結果を踏まえ、羽幌町としてセントラルリーシングシステム株式会社を指定管理候補者として選定いたしました。

3番目、このセントラルリーシングシステム株式会社の概要となっております。創立につきましては昭和63年8月19日、従業員、構成員につきましては473名、資本金につきましては30億555万円、このセントラルリーシングシステム株式会社が行っている類似施設またはその他施設の運営の実績等といたしまして遠軽町丸瀬布の温泉リゾートホテルの運営、マウレ山荘、千歳市のJR千歳駅に直結したビジネスホテル、千歳ステーションホテルの運営、北海道エアポート株式会社から受託しております新千歳空港ターミナ

ルビル及び附帯施設の維持管理業務、その新千歳空港内の飲食、物販の運営ということ
でラーメン店、そば店、海鮮料理店、あと軽食物販を行っております。以上がこのセン
トラルリーシングシステム株式会社の概要となっております。

以上で資料の説明を終わらせていただきます。

小寺委員長

それでは、質疑のほうに入りたいと思います。質疑のある委員は、挙手にてお願いい
たします。

－主な協議内容等（質疑）－ 10:04～10:57

工藤副委員長 では、質問します。ずっとアンビックスさんでやっていただいたのです
けれども、今回替わったということで、これについて要するにセントラ
ルリーシングシステムさんがここのサンセットプラザをどのような形で
進めていきたいのだという、そういう内容的なものは向こうからの言葉
としてどんなことがあったのか知りたいのです。

小寺委員長 暫時休憩します。

（休憩 10:05～10:06）

小寺委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

木村課長補佐 まず、この会社といたしまして、うちのほうで募集要項等にも載ってい
ましたが、他の施設等の実績等々の中にもあるのですけれども、まず…
…すみません。ちょっと一回休憩してもいいですか。

小寺委員長 暫時休憩します。

（休憩 10:06～10:08）

小寺委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開します。

木村課長補佐 それでは、まず1点目、この会社におきましては利用者の利用の確保につきましてSNS等によるアンケートで要望を把握し、その要望に対する町との定期的な共有を図っていくという考えと、あと高齢者、体の不自由な方、インバウンドなど多種多様な利用ニーズに対応していくというような考え方があるということです。

もう一つ、2点目、活用と管理の経費縮減ということで、まず先ほども申し上げた実績の中でもありました千歳空港等々実績ございまして、グループ会社との連携による広域的なプロモーション活動を計画していると。あと、そのほか独自イベントといたしましてホテルのところを利用しましたビアガーデンですとか、屋外サウナと、そういったイベントの企画を考えているということ、あと収支において経済的な今の状況を考慮した見込みで実態に即した積算をしていること、あと経費削減の対策としましてボイラー更新時等における暖房設備等、燃料設備等の新しいものの導入やLED照明への切替え等、具体的な省エネ対策が提案されております。

管理を安定して行う物的能力及び人的な能力としまして、新千歳空港において今24時間の体制で管理しているノウハウを生かすということ、あと総合ビルメンテナンス等々の会社が附属しておりまして、多数その部分でのノウハウを持っていらっしゃる方が在籍しているということになっております。今言ったように類似施設の運営のノウハウを活用しながら、この施設の管理を安定して行っていくというふうになっております。

申請団体の経営状況としましては、先ほど申し上げました総合ビルメンテナンス会社としての実績等々、あと北海道空港株式会社のグループ企業としてというような経営状況になっております。

そういった部分を踏まえまして、道内類似した施設の運営が十分に実績があるということ、これからの管理においても具体的な省エネ設備の導入提案など経費削減も期待できるということになっております。

以上となります。

小寺委員長 暫時休憩します。

(休憩 10:10～10:10)

小寺委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

木村課長補佐 先ほどの説明の部分で補足といたしまして、収支計画の部分の中で指定管理料の部分の提案が現行の指定管理料部分について、それよりも低い金額での提案をなされております。現行の指定管理料につきましては、単年度で4,200万という金額なのですけれども、今回提案をしていただいたこの会社におきましては単年度3,300万というような運営計画を提示されております。
以上です。

工藤副委員長 まず、今明らかになったのが指定管理料が今までよりも安い提示であったと、4,200万なのが3,300万の要望だということで、これは僕らも気になっていたのもので、いいのかなと思います。
あと、僕らずっとこのサンセットプラザのことで言っていたのが7階のラウンジの部分、それから温泉施設の軽食を出す部分、この辺が思いとしてはきちっと正規の形で、従業員の人数は少なくなってもちゃんと対応できるのだというものをやってほしいというのが僕の思いだし、町民もそう思っていると思います。それから、もう一つは、レストランの部分、普通に昼食取る、あるいは夕食に例えば何人かで行く、家族で行っていったときに苦前町が随分人気があると。僕らもたまに行くのですけれども、羽幌の人が結構います。そういうところの羽幌町のお客さんもサンセットに取り込むという、どのようにやっていくかという、そういう部分もとっても気になるのですけれども、この辺の細かいところは羽幌町からはまだこの会社には言っていないような今感じに捉えられるのですけれども、今後そういうことをきちっと言っていって、羽幌町としてはこのようにやっていって、そして地元の人を取組、それから観光で来た方の取組を充実させていくという、そういうことをこっち側の町側の希望はこうなのだというのをこの会社に訴えていくべきかなと思うのですけれども、その辺はどういうふうに考えていますか。

三浦副町長 今ラウンジとレストランということで2点の質問がありまして、向こうから提案があったことに関してはレストランについては魅力のあるもの

にしたいということと地元のものを活用したスイーツを開発していく、一緒にやっていきたいということ、それからラウンジに関しては7階今観光協会使っていますので、これはこちらの要望等になりますけれども、それを1階の空いているスペースありますので、例えばそこに下げて7階を人がつくのかつかないのかも含めて一般の方に開放して、景色のいい場所ですので、活用を図っていくような形で進めていきたいなというふうには考えています。

金木委員 何点かあるのですが、まず指定管理者選定委員会、こういうのがあるのは私も聞いてはいたのですが、正確な個人名は別としてもどんな役職の方々がこの委員になられていたのか、可能な範囲で……（担当は地域振興なんですけど、副町長のほうから。の声）そうですか。すみません。お願いします。

三浦副町長 メンバーとしては、私も含めて羽幌町の課長クラスの職員、それと民間の方も含めて構成メンバーとなっております。

金木委員 民間の方も入っていると思うのですが、どんな業種って言ったらいいか、どんなような人なのかも可能ですか。

三浦副町長 学識経験者ということでのジャンル、それから町内の商工業関連の方ということで入れております。

金木委員 この方は、固定なのですか、今回のいきいき交流センターの指定管理に当たってその都度選定されるものなのか、年間なり任期なりがあって選定される……

三浦副町長 任期ありますので、任期の中での活動というふうになります。

金木委員 先ほど工藤委員とのやり取りで評価内容は大体分かったのですが、新しいこのセントラルリーシングさん、これまでの羽幌町との接点とかというものは何かあったのかどうか、今回まるっきり新規の方なのか、その辺お聞きしたいです。

- 三浦副町長 先ほど会社の概要説明させてもらいましたが、北海道空港関連ということでグループ会社でありまして、羽幌町としての接点としては物産展関連で、空港に自分のお店とかもありますので、具体的な内容でいくと先ほど説明した海鮮料理店、ここにオロロン米を提供しているということで、そういう接点はあります。
- 金木委員 そしたら、当然公式非公式問わずこの会社の方が羽幌にも何回か来られてサンセットプラザにも宿泊されているのかどうか、そういったことまではまだ詳しく分からないですか。そういった実態は見ている、どんなホテルなのかについて当然見ておられるのだと思うのですが、その辺はそう思っているんですか。
- 三浦副町長 提案内容の具体的な先ほどお話しさせてもらいましたが、その内容から見ると当然内容を具体的に知っておられますし、多分宿泊もなされたのではないかと思います。
- 金木委員 最後に、まだ正式決定は、議決などもそうですし、契約とかまだまだこの先になるのだと思うのですが、それまでにやらなければいけない問題としては今サンセットプラザで、いきいき交流センターで働いている従業員の方々のその後、切り替わった後の継続されるか、本人の希望もあるかどうか分かりませんが、希望される方についての継続の方向とか、その点についてはまだ具体的に話ししていないのかもしれませんが、当然町としては考えなければいけないところだと思うのですが、その点どうお考えかお伺いします。
- 三浦副町長 従業員の確保ってやっぱり大きな課題だと思っています。向こうからの提案も、従業員のことに关してはしっかり現在の状況の従業員を確保していきたいということと羽幌町にもその辺は協力してほしいというような提案もありましたので、今回この結果をそれぞれの会社に通知するに当たり、アンビックスさんに関しては今回こういうことになったけれども、従業員についてはできるだけ現況の中で働いていただきたいというような申し入れはしておりまして、向こうも全面的に協力してくれるとい

うことで理解をしてもらっています。

佐藤委員 1つだけお願いします。この選定委員と専門委員とがやっている評価のいわゆるテキストみたいな、そういうのというのはもともとからあったものをそのまま継続でやってきているのか、それとも今回新しいことに対しての新しい評価表というか、どのような格好であるのか、またそういう評価の表というのは見せてもらうわけにはいかないのですか。

森 町 長 本来これ地域振興が選考委員会してやるので、細かい部分に関しては、地域振興課が出席すればよかったのかなと思うのですけれども、代わりということではないですけれども、全体の中で三浦副町長からその部分は発言させていただきます。

三浦副町長 ホームページでも公開しているのですけれども、結果的に点数も載せてございますが、その中に選定基準と、それから配点ということでそれぞれ載せてございます。全部で5点の項目について確認をして……（5問ということ。の声）はい。まず、1点目につきましては、先ほど木村補佐からもお話ししましたが、利用者の平等な利用の確保が図られるかどうか、2点目に関しては公の施設の効果的な活用と管理経費の縮減が図られているかどうか、3点目に関しては管理を安定して行う物的及び人的能力があるかどうか、4点目に関しては申請団体の経営状況しっかり安定性があるのか、5点目については選定に係る主観的要素ということでそれぞれ全体的に見た感想、それぞれの委員の感想をのべてもらうということで、大きく分けて5点の観点から選定をさせてもらっているということになっています。それぞれ1点目であれば60点満点、それから2点目の公の施設であれば100点、それから3点目の管理に関しては60点、そして4点目の申請団体の状況に関しては40点、最後の主観的要素については40点ということで300点満点ということでやっております、詳しい個別の内容については非公開となっておりますので、ご了承願いたいと思います。

佐藤委員 これは、従来やってきたアンビックス社なんかのやったときもこのような、5問に関しては同じような……（やっていないんじゃないか。の声）

やっていない。

三浦副町長 10年前にやったときもほぼ同じような内容で、あと若干中身をリニューアルしながらその時点に合った段階で変えておりますが、このような形で選定配分はされております。

佐藤委員 ホームページのほうには載っているということだね、そしたら。

三浦副町長 私が今お話しした内容については、ホームページに公開されておりますので、ご確認いただければと思います。

逢坂委員 それで、私、先ほど町長さんが言われたのだけれども、ホームページのほうを引っ張って若干見せていただいた部分で質問させていただきたいと思います。先ほど町長さんが言われたのですが、評価点数が1,200点満点で、それぞれ851点と852点、僅か1点の差だったので、今回この新しいセントラルリーシングという会社に今度業務委託をするようになったのですけれども、1点差という部分について私も大変気になっているのですけれども、平均点の出し方ですから、1点でも2点でも差がつけば当然その業者に決まるというのは分かるのですけれども、特段アンビックスさんと、先ほど一部分工藤委員も言っていたのですが、アンビックスさんと今回選考に挙がったセントラルリーシングさんとの何か大きな目玉というか、羽幌町が求めたものと物すごく一致して点数は1点だったけれどもという部分があるのかという部分と、あくまでも点数で1点差だからこちらのほうに決めたということで、その辺教えていただければなど、あくまでも点数で決めたのか、すみません。

森 町 長 先ほど挨拶の中でも触れましたけれども、点数はそれぞれ、先ほど金木委員の質問にもありましたけれども、行政関係、それから個別関係、行政関係のほうだけ大きくなってはまずいということらしいので、そっちは集約して平均点出してバランスを取ったような点数のつけ方ということで聞いています。結果として、これ両方比べて差をつけるというのではなくて、それぞれ積み上げ方式ですから、具体的に点数をつけていって結果としてそうなったということですから、そこから今度その報

告を受けて最終的にそれでいこうというところは私の決裁で最終決定しております。1点差ということも当然考えますけれども、全体として先ほど例えば言った指定管理料の問題とかポイントになる部分、そこだけ大きく点数を配分したわけでもないので、そういうことも総合的に勘案して私としては選考委員会を選んだほうになったということ、もう一回言い方を変えと、総合的にある程度私としてはそれは点数の1点差とは別に結果を見させてもらって判断したということで理解してもらえばいいと思います。

逢坂委員 それはそれで町長の言う部分は分かったので、それはそれで進めていくということだと思うのです。それで、指定期間は、前は10年だったのですが、今回も10年ということで、そういう形でよろしいですか。

三浦副町長 10年間ということで、令和8年4月から令和18年の3月いっぱいということで10年間としています。

逢坂委員 それで、10年間という部分で、これは前もお話ししているのですけれども、当然毎年更新していくということで、そういう解釈でいいと思うのですけれども、それもし間違っていたら取り消します。
それから、私も一般質問の中で従前からサンプラについては建物全体を含めての大規模改修、あるいは特に浴場改修だとか、その辺を常にこれまで言ってきたのですが、その辺について今回何か問題点提起等は査定基準とか、そういうものに例えば挙げて審査をされたのかどうか、その辺お聞きしたいと思います。

森 町 長 相手とのその関係のやり取りがあったかどうかについては、副町長のほうに任せますけれども、これまでも議会等で多くの議員からいわゆるサンセットプラザのホテルの浴場を中心とした現状について様々なご意見なり提案をいただいております、現状としてやっぱり危険は取りあえず避けるというところで最低限の予算措置をしてやったのですけれども、これは今の段階ではもちろん決まったと言うと議会のほうから怒られますので、そういうふうなことではなく、あくまでも全て議会を通して結果が出た場合ということで考えていただきたいのですけれども、担当課

としてはもう少し露天風呂を含めた浴場改修について進めていきたいという考え方がある上で形としては12月上旬、11月末でしたっけ、予算の締切りが終わって、その後上がってきて最終的に1月以降に査定で決めていくのですけれども、考え方としてはこういう機会があったので、私のほうも確認しましたけれども、担当課としてはまずは浴場のほうを今よりも改修したいということを考えているというふうに聞いています。もう一つ、大規模改修ということなのですが、これもやり取りの中で私のほうからこれは避けて通れないという趣旨のことをニュアンス的にも伝えていたというふうに自覚しております。その上で、今公共施設マネジメントの見直しの中にこれを織り込もうということで商工観光のほうから財政課にも提案もありましたし、私どものリクエストも含めて何年にどの程度の規模でやるかということは今つなぐ段階に入っています。ただ、ご存じのように近場の部分として確定したのは、教育委員会の部分で17億幾らというのは、3年かかる中で来年度焼尻小中学校、それから公民館の一部機能移転、それから加藤病院跡地に勤労青少年ホームの機能、それから健康支援課の一部移転ということで、あと病院の改装も予定しておりますので、それぞれある程度のものも出てきたものもありますので、そういうもののめどがついた段階で優先事項の上のほうに挙げて公共施設マネジメントの中に明確にある程度、金額はどうしても概算になりますけれども、実行時期は載せていきたいということを今頭の中では考えていますし、最初、ちょっとまた話ずれるのですけれども、公共施設マネジメントできれば8年度って言っていたのだけれども、7年度中の早い時期にというふうに修正したのですけれども、どうも全部きちっと詰めていくと早い時期ということにはならないので、7年度中にはそういうことも含めた計画をまた議会のまずは特別委員会のほうに報告をしながら最終決定していくということの中に入れ込んでいこうというふうに思っていますし、間違いなく入れるということだけは、年度とか予算は別ですけれども、この場で私の発言としてさせていただきたいと思います。

逢坂委員

もう一件、先ほど金木委員のほうから従業員の確保というか、そういうことでお話があったのですが、私としては同じこと言うのですけれども、できるだけ今いる従業員も採用していただきたいというふうにお願

たいと思います。

それで、そうなるとう待遇の問題も、当然管理料も安くなって会社によっては待遇が例えば冷遇されるとかいう部分が発生する可能性もあると思うのですけれども、その辺の打合せだとか、そういうことはされたことがあるのかどうか、打合せの中で。従業員確保は別にして、待遇、要するに給料、報酬とか、そういう部分についての打合せはあったのかどうか。

三浦副町長 提案としては、人件費ということに関しては毎年同じ額ではなくて、しっかりと伸び率も見た中で10年間のシミュレーションを、例えば1,000万なら1,000万円ずっと10年間ということではなくて、伸び率も見た中で予算の確保ということで考えておりますので、その辺はしっかり対応していただけるのかなというふうに思っています。

逢坂委員 そしたら、当然そういうことを含めて毎年多少変化はあるけれども、待遇はそんなに例えば今のアンビックスさんと変わらないというような解釈でいいのか、それとももうちょっと高くなるとか、その辺はどうなのですか。働く人にしたら、やっぱり少しでもお給料とか高いほうがいいわけですから、会社が替わって安くなって、それでも働いてくれって言ったら、今の時代物価も上がって大変だと思うのです。だから、そういう部分も町としてせつかくこうやって新しく今度会社を決めるという方針でいくわけですから、できるだけやっぱり従業員に沿った形にできるだけしてほしいなと思います。要望でございます。何かあれば。

三浦副町長 従業員の確保と、それから待遇面ということでは、当然しっかり対応していただきたいという考えありますし、最低賃金法もありますし、極端な安い額でということは考えられないと思いますけれども、現在どの程度でアンビックスさんが雇用されているのかもありますけれども、その辺のことは十分しっかり申入れをしていく中で賃金の確保、そして従業員の確保、待遇面の確保をしっかり図っていただくようお願いしていきたいと思っています。

村田議長 今の関連というか、従業員のことにに関して今いろいろ説明受けて、私も

今働いている方が安心してまたここに生活するために仕事をして雇っていただけるようにはお願いしたいですし、もう一点ちょっと違うことなのですけれども、今年度で給食センターが閉鎖するということで、そこにも全員の方が、前ここで説明もありましたけれども、全てのことを考えて再雇用できるような形で全力を尽くすという教育長のお話もあった中で、こういう今の段階で指定管理が替わったときにそこら辺はパートなりがホテルといったら掃除もいろんな仕事もありますから、そういうのはそういうので給食センターで働いてきた方々の再雇用の場としては町としてはお話をしてもいいのかなというところがちょっと思ったものですから、そこら辺は可能かどうかお聞きしたいです。

森 町 長

給食センターのことということと今回のこれというのは、給食センターに関しては我々が雇用していた人が自己都合で仕事なくなるという前提の中で教育委員会のほうから説明あったとおりの方針で進めていくということであります。これについては、我々が雇用するわけではなくて、当然新しい指定管理の会社が、民間企業がその上で今働いている人たちをもともと雇いたいということの前提で考えているようですし、その後先ほど副町長の発言にもあったようにアンビックスも協力してできるだけそういうものに協力したいということで、当然希望者に関してはそのまま雇用できるようなことを我々もバックアップしていきたいと思えますけれども、私たちがほかの例えば職場を世話するとか何とかかんとかということをやると、また逆にその職員を減らすみたいなことになりますから、やっぱり民間企業といわゆる働いている雇用関係について要望なり意見なりについては言えると思いますけれども、直接第2の職場を見つけるから、そこよりもっといいところありますよみたいな教育委員会のやり方というようなことと類似するようなことはちょっと難しいのかなというふうに思っています。

それから、先ほど個別の内容については言えないということでしたけれども、当然私もチェックしましたが、それも大事な側面ですので、特に今回決まったところに関しては具体的に先ほどちらっと副町長も何となく分かるように言っているなと思って聞いていましたけれども、当然経営のことに対しては経費だとかいろんなものを全部出した上でこれでやっていきますよ、そうでないと先ほど四千何百万が3,300万に下がる

よという数字なんかただ言うてくるだけのことになるわけです、当然。売上げが幾らぐらいを見込んで、いろんな固定的な経費がどのぐらい、あと人件費をこのぐらい見込んで、町からこれだけあれば十分町が要求するレベルの水準の運営をしていきますというものがあつたので、我々は決めたということです、従業員の人件費についても妥当な、むしろ将来の、先ほどそれからのこと言っていましたけれども、今後のベースアップも前提に置いた中での財政計画、事業計画の大部分も当然あるわけでありまして、それは業者からありましたけれども、特にそういうことだというのもありました。そういうことであつて、基本的にこれから進めるのは経営、会社と雇用との中身になっていきますけれども、我々としても不安の払拭だとか、それからこれから契約を結ぶ会社に対して今の要望とかも強く言うという中でうまくスタートできるような協力は惜しまないというふうに考えてもらえればと思います。

村田議長

私が言ったのは、給食センターでまだ仕事をしたいという人が、例えば今の新しい指定管理者が従業員とかパートで何人か欲しいとかということがあつたときにそういうことを紹介することができるかどうかという話の質問だったので、だから最初に強制はできないけれども、そういうことを伝えることは十分できるというようなことでしたので、その回答でいいと思います。

続けていいですか。確認したい事項が1点。この会社の概要の中で創立は63年で、千歳空港のターミナルビルと附帯施設維持管理業務が昭和57年からとなっていますので、恐らく会社としては名前を変えたとか、何かで合併して大きくなったとか、何か理由があると思うのですが、もともこのセントラルリーシングシステム株式会社の概要の前段、何から始まってこういう維持管理業務をスタートしていったのかというところでいくと、必ずあるはずなのです。63年に設立して、それからすぐというその何年も前から委託業務をやっているわけですから、そこら辺もし分かるのであれば、私もちょっと調べてみたのですが、詳しいことは分からないので、もし分かれば教えていただきたいと思います。

森 町 長

今私も調べているのですけれども、昭和63年ということでここまでやっているということで40年たってきているわけです。40年以上前に何かあ

ったのだろうということは、千歳空港あったので、きっと何かあったのだろうなと思いますけれども、現時点では40年以上前なので、そこは名前変えて引き継ぐということもあるし、全く新たに入っていたのかというのはこっち側としては把握していませんけれども、企業として40年経営しているということは十分信用に値するということだったので、それ以前が何だというのは調べていません。

小寺委員長 暫時休憩します。

(休憩 10:42～10:44)

小寺委員長 会議を再開します。

村田議長 先ほどからずっと説明からいろんなやり取りした中で一番気になる部分は、改修、今の小さな改修から大規模改修から、そこが町側としては一番大事なところになると思うのですが、幾つか先ほど、第1にまずお風呂場、大浴場、そこはしたいということだったのですけれども、木村課長補佐のほうから最初屋外にサウナだとか、ボイラーだとか、LEDをと、コストを下げるとい、何かそういう説明があったので、今までもそうですが、指定管理者側が改修するもの、細かなもの、修理とか、あと大きいものは町側がやるという部分の中でそういうすみ分けをこれからしていくのか、それともこのスタートのときにそこら辺は町側が大浴場を改修するのと一緒にやれることはやっていくのか、その考え方をまず教えていただければと。

森 町 長 フォローしてもらいますけれども、基本的には今回の公募をする際にもそういう条件は一定のものを挙げて当然公募しないと向こう側も判断のしようがない部分があるので、今決まっている具体的な文言とか、そういうものを用意しているかどうか分かりませんが、あれば説明させます。ただ、その中で先ほどどなたかから相手が泊まって見に来たのかみたいな質問もあり、泊まったかどうかはちょっと分かりませんが、当然これだけのかなりお互いに両方物すごく分厚いプレゼン資料というのですか、提案資料等の中には様々な提案を含めてありました。これあま

り言うと地域振興のほうでルール違反だって言われるかもしれませんがけれども、例えば今ある経費を削減するために新しい世代の暖房だとか、そういうものも提案してきたのも会社です。ただ、これに関しては、当然町側が予算つける側のものになります。今のボイラーもかなり傷んでいて、ボイラーの更新というような感じで向こう思っていますし、向こうには公共施設マネジメント、大規模改修、何年にやりますから、約束できないので、これは条件に入れていませんけれども、そんな中でそれに関してもまた向こうの意見聞いたり、ノウハウはここに履歴、概要にも載っているように我々よりもはるかいろんな部分の幅の広い、しかも実際に運営しているノウハウを持っている会社という印象なのです。ホテルだとかレストランの経営もあるけれども、ビル管理だとか、そういうものでいろんな資格を持っている人もたくさんいるという感じで、実際にそういうような話もあったみたいです。その辺は詰めていって、今よりもいいものを提案していただけるようなことは書いていたということだけは言っているのかなというふうには思います。ただ、今もちょっと曖昧な部分があったりする部分があるので、この機会に明確に我々が出す部分と、新しい契約になりますので、セントラルリーシングが出す部分というのはより今まで以上に明確にして、例えば消耗品の電池だとか電球だとか、そういった類いのは当然向こう側とかということも個別に契約結ぶ前にまずどんどん進めていく必要があるというふうには思っています。原則はありますけれども、説明したとおりのことで進めてまいります。

三浦副町長

今町長話したとおり、経費区分に関しては消耗品ですとか小さな部分については当然維持管理も含めて指定管理者の責任においてやってもらいますけれども、大規模改修については当然町がやっていかなければならないと。その中で1つ提案出たのが先ほど課長補佐からも話したとおりLED化ですとか、省エネ関連のボイラーですとか、そういう提案は受けていますので、そういう案は、要望は、省エネになれば当然維持管理も安くなりますから、指定管理料も現状維持、またそれより安くなる可能性もありますので、どんどん取り入れていきたいなというふうに考えています。

村田議長 今の答弁で大体のことは理解をしました。自分も指定管理者がアンビックスからこうやって今替わるということは羽幌の今のいきいき交流センターの評判を押し上げるいいチャンスだと思うのです。それで、今の答弁がありましたように指定管理料が安くなるという部分だけでなく、スタートするときにやっぱり町民とか観光客とか皆さんに変わったね、よくなったねって言ってまた来てもらえるような、そういう形をきちんと取ってスタートできれば、私もそれが一番いいのかなと思いますので、来年度スタートするときに大浴場を改修するという中でどのぐらいのことができるかというのは、これは別ですけれども、やっぱりある程度スタートラインにやれることはやってあげる、あと大規模改修の部分でもできれば、先ほど町長言ったように財政的にいろんなことがあるので、分かりますけれども、優先順位を少しでも上げて早いうちにしていってあげることがやっぱり将来的な部分を見て大事ではないかなって、本当にこのスタート、せっかく二十何年ぶりに替わった、その中での再スタートができるので、そこら辺本当に惜しみなく考えていただきたいというお願いです。何かあれば、答弁よろしくお願いします。

森 町 長 本当に先ほど発言したものと重複するのですが、このいきいき交流センターに関してはずっとやっぱり町民の関心も高いですし、議会のほうからも様々な議員から提案なり、いろんな質疑行われてきております。その上で今総評して議長がおっしゃっている部分というのは十分理解できますし、私としても中身に沿った形で少なくとも半年以内には議会のほうに公共施設マネジメントの部分、年限を含めた、金額もある程度織り込んだものの中にいきいき交流センターの大規模改修を入れていきますので、今追い風が応援団的な話として伺っておりますので、ほかにも様々な重要な課題たくさんありますけれども、それも含めて財務課とも打合せしながら、ほかの課とも全部打合せしながらはこんでいくような方向で考えていきたいというところまでは今日の段階では説明しておりますので、ご理解ください。

工藤副委員長 あと2点ほどちょっと。この指定管理料のことなのですが、僕の理解で間違いなければ、コロナがあったことの要因で2,400万が4,200万になったという経緯ありました。これ3,300万という向こうの希望の額だ

と思うのですけれども、あくまでもこれは決定でなくて向こうの要望で、こっち側が協議して3,300万でなくてもその下の数字でも合意ができるのであれば、そういうことも考えてもいいのでないかなって僕思うのですけれども、その辺は。

森 町 長 一般的なこととして私のほうから答えさせてもらいます。いわゆる指定管理の公募をして、向こうがこの金額でいきたいって言って、それで了承して、了承したら、後でもっと下げろとか、そういうようなことはいわゆる契約を結ぶ際にその時点で全くお互いの信頼関係なくなりますので、向こうが3,300万でいきたいということを了承したということです。それは動かすことはないと思います。ただ、これはスタートラインはゼロから始まって2,200万でしたか、2,000万だったような、2,200万でしたっけ……に上がって四千何百万というのは、確かに2,200万、コロナ全くそのときはなる前で、そのとき議席持っていた議員は覚えていると思うのですけれども、料理をよくするとか、そのためにもうちょっともらわなければいかぬみたいなどのやり取りがあった上でよりよいということで、あと残り1,000万プラスは明らかにコロナのことというふうに、議員の立場でしたけれども、認識はしていました。コロナが終了して宿泊なんかはかなり戻ってはきている現状ではありますけれども、当然諸物価の値上がり、人件費等の値上がり等の中でそれぞれですけれども、当然考えて先ほどかなり細かいシミュレーションを立てているというふうに伝えたつもりなのですけれども、その上でこれだけ一応あれば安定的に魅力のある運営ができるという提案でしたので、それはそれで許容していると。交渉してもう一回下げるといふことにはならないといふことは、理解してもらいたい。

工藤副委員長 今の件は分かりました。来年の4月からのスタートだと思いますけれども、その間に詰めたやり取りがあるのだと思うのですけれども、最終的にこういう内容でこの会社とやっていくのだというものを確定した段階でもう一度委員会で聞きたいと思うのですけれども、そういう準備は今後なされるのかどうか教えてもらえませんか。

森 町 長 委員長とも相談して、議長とも相談してという流れになると思いますけ

れども、先ほど冒頭の挨拶もその辺ちょっと触れたつもりではいるのです。契約結んでいないのだから、一切話をしては駄目ということだと、全然これはスタートラインに間に合わないですから、契約結ぶのは12月議会の指定管理に対する議会議決を経て、その後に契約になるわけで、当然例えば来年の予約はいつから取るとかいろんなことがあるので、今日のこの委員会の中でおおむね皆さんにご理解いただいたということであれば、詰めれるものに対しては詰めていきます。それと、当然契約結んでからでないともまた具体的にできないということもあるかもしれません。その辺については、臨機応変にいくしかないかなと思っております。なので、逐一細かい内容、こういう交渉しているのだけれども、これで皆さんどうですかみたいなところは、事実上これ民間企業とのやり取りの中では限界があると思うので、提案権持つ町側としてそれは責任持って、もう今でも実際は担当課はある程度基礎的な部分に関しては打合せもスタートしているというふうに理解していますけれども、ある程度固まった段階で議会に提案するわけですから、ある程度その前の段階で委員会を開いて今こういうことで進んでいますということは、委員長のほうから要望してもらえば町が嫌だって言っても絶対開かなければなりませんので、我々に開いてもらえますかって聞くのではなくて、議会が開きますって言えば我々は応えなければならない義務がありますので、その辺は進行状況等含めてできれば委員会の中でそういう話をした上で委員長と担当課長その他と打合せして次の中身については決めてもらえればなと思います。

工藤副委員長 分かりました。いずれにしても、羽幌の観光の拠点の施設なので、万全の体制でできるようにお願いします。

小寺委員長 ほかに質疑ございませんか。(なし。の声) ないようですので、先ほどの話では12月にまた議会のほうに議決の提案があるということです、その際にまた質疑等があれば委員会以外の方も含めて質疑を行った上で決定していただきたいというふうに思います。
本日はこれで終了いたします。ありがとうございました。